前原中心市街地まちづくりワークショップ

ウォーカブルな前原のまちを考えよう！

レポート vol.4

全4回プログラム

第1回
まちづくりを学び
エリアへの期待を
共有する
日時 10月18日（土）

第2回
まちを歩いて
前原の魅力を発掘する
日時 11月15日（土）

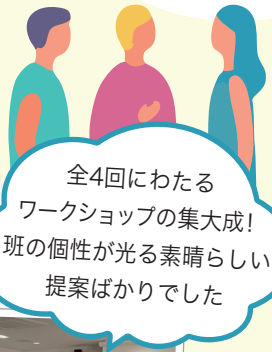
第3回
具体的な
アクションプランを
考える
日時 12月13日（土）

第4回
社会実験の内容と
チームビルディング
日時 1月17日（土）

（まちなか広場研究所 / 眺めニスト）
講師：山下裕子氏

第4回 社会実験の内容とチームビルディング

糸島市では、前原中心市街地の「ウォーカブルなまちづくり」を進めており、ソフト事業としてR8年度に社会実験を実施する予定です。それに先立ち、市民参加型の連続ワークショップを開催しています。第４回では、これまで議論してきた社会実験のアイデアや取組を実現するために必要なコトやモノ、人の巻き込み等について議論しました。また、ゲスト講師に山下裕子氏（まちなか広場研究所 / 眺めニスト）をお招きし、全国各地の取組の伴走支援を通じた知見やこれからの前原のまちづくりへのエールをいただきました。



全4回にわたる
ワークショップの集大成！
班の個性が光る素晴らしい
提案ばかりでした

グループワークの様子

❶市担当者より開会の挨拶

❷山下さんより事例紹介

❸実現カードで意見を共有

❹各班のイチオシ案を発表

話し合いの結果

これまでのワークショップで検討してきた社会実験のアイデアや取組を「どのように実現していくか」をテーマに議論を行いました。

グループワークでは各自の意見を共有しながら、班の“イチオシ！”案を検討しました。ゲスト講師の山下さんからのコメントとあわせて内容を紹介します。

1班 とりあえず“ホコ天”!!

名店街 イリスロード

- 「歩行者のための空間」を実際につくることで、住民や来訪者の意識変化のきっかけづくりを目指す
- 場所が既にあるので手軽に始められる

取組の目的

まちなかの空間を活用して色々な取組を誘発する

実施期間のイメージ

週に１回程度を１か月間、データを取るために平日と休日の両方で実験してみたい

人や組織の巻き込み

沿道駐車場の利活用の相談や、プレイパークや農業、クラフト、キッチンカー等の出店者への声掛け

山下さんからのコメント

歩行者の増加は商いへ与える影響も大きいです。また、データを取ることも非常に重要です。マーケティングの観点からも仮説を立てて、実証を行ってみて下さい！

2班 賑わいと統一の安心感

名店街 イリスロード

- マルシェロードの実現、休日出勤ならぬ休日出店を！
- 人工芝やベンチ・イス等を設置して、自動車にはゆっくり走ってもらう（目指すは 10km/h）
- マルシェの什器やサインなど統一のデザイン・設え

取組の目的

エリアとして賑わいがあること、統一された空間・サイン等で来訪者への安心感を創出する

人や組織の巻き込み

NPOやクリエイター等と連携して糸島市産材の屋台を制作。店舗を持たない事業者や会社員の“休日出店”など、多様な人のチャレンジを支援する仕組みづくり

山下さんからのコメント

安心の前には安全が肝要です。道路空間は一方通行化だけでも安全性が高まります。トイレの貸出など地域側のおもてなしが共通のサインとしてあることも安心に繋がりますね！

3班 『コト』と『モノ』

市民参加型 WS、まち歩きとものづくり

エリア全体

- 参加者の得意分野を活かして、市民参加ワークショップの企画や資源を活用したものづくり
- 都市の木質化のウッドデッキや廃棄ブイを再利用したランタンなど
- 取組の様子は映像でアーカイブを残し、SNS等で発信

取組の目的

エリア内の“歩く楽しみ”を拡充するためのプログラムや空間・設備を整備する

実施期間のイメージ

半年程度かけて企画やプログラムを実施

山下さんからのコメント

ものづくりの景色は偉大です！ぜひ準備段階や作業風景からオープンにすることで関わりしろもより一層増えると思います

4班 イベントとの連携、若者との連携

筑前前原駅 名店街 イリスロード

- 筑前前原駅の改札前の掲示板の活用、情報発信・PR
- 若者の来訪目的や滞在する風景を創出するためのスタンプラリーやのみ歩き等の企画

取組の目的

広域のイベントや既存施設等との連携により、エリア内の回遊性を高めて滞在時間を増やす

実施期間のイメージ

他のイベントとの連携を見据えて秋頃に実施

山下さんからのコメント

回遊性向上は非常に重要です。実際に滞留時間が増えると購買金額も増えるというデータもあります。ぜひ寄り道のきっかけづくりをデザインしてみて下さい！

5班 楽しくて“つい”遊びに行きたくなる!

丸田池公園 前原中央公園

- 滞在空間での“憩い”と夕方～夜の“ヒカリ”で魅力創出
- 前原の良さを知ってもらうプログラムの企画
- 糸島市産材の積み木や移動図書館、ビアガーデンはぜひやりたい！

取組の目的

固定の場所で継続してイベントを開催することで、いつも何か楽しいことがあると認識してもらう

人や組織の巻き込み

参加者のネットワークを活用して、既存の団体やボランティア、飲食出店者などの協力を相談する

山下さんからのコメント

いつでも使える場所があることは街にとってプラスです。前原は来街者もチャレンジできる場所になれると思います。そんな時に利用申請等の仕組みが明快であるといいですね！

アンケートより

Q1. 本日の取組についての満足度【理由】

- 今までの積重ねでチームワークが生まれ、とても有意義な話ができました。
- 山下さんのお話がとても良かったです。具体的な話だったので、わかりやすく現実的に感じとれました。
- 大きな変化を生むのがソフト対策では難しいと考えていたが、想像していたよりは企画に幅があり面白いと感じた。

Q2. 話題提供やグループワーク等で印象に残ったことはなんですか。

- いろんな立場の方とグループになって意見を聞くことで、考え方に広がりを持つことができた。
- みなさんのご意見をまとめた内容にできたら前衛的な取組になると思う。
- グループの中に中心市街地に住んでいる人がいたらもっと意見が聞けて良かったなと思います。

糸島市役所 建設都市部 都市計画課
☎ 092-332-2077（直通） 092-329-1311 toshikeikaku@city.itoshima.lg.jp